

2020年12月18日  
 阪神高速道路株式会社

## 第16期(2021年3月期)中間決算の概要

### 1. 連結決算の概要

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	2021年 3月期 中間期(A)	2020年 3月期 中間期(B)	増減		2021年 3月期 通期見通し	2020年 3月期 通期実績
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)		
<b>営業収益</b>						
<b>高速道路事業</b>	<b>863</b>	<b>1,041</b>	<b>▲ 177</b>	<b>▲ 17.1%</b>	<b>2,580</b>	<b>3,597</b>
料金収入	770	907	▲ 137	▲ 15.1%	1,600	1,781
道路資産完成高 <sup>(注)1</sup>	90	131	▲ 40	▲ 30.8%	976	1,808
その他売上	2	2	▲ 0	▲ 2.6%	3	6
<b>関連事業</b>	<b>60</b>	<b>46</b>	<b>14</b>	<b>31.0%</b>	<b>128</b>	<b>108</b>
受託事業	39	24	14	60.8%	72	57
その他の事業 <sup>(注)2</sup>	21	21	▲ 0	▲ 1.9%	56	50
セグメント間取引消去	▲ 1	▲ 0	▲ 0	-	-	▲ 2
	<b>922</b>	<b>1,086</b>	<b>▲ 163</b>	<b>▲ 15.1%</b>	<b>2,709</b>	<b>3,702</b>
<b>営業費用</b>						
<b>高速道路事業</b>	<b>850</b>	<b>1,041</b>	<b>▲ 190</b>	<b>▲ 18.3%</b>	<b>2,605</b>	<b>3,592</b>
道路資産賃借料	564	704	▲ 140	▲ 19.9%	1,199	1,375
道路資産完成原価 <sup>(注)1</sup>	90	131	▲ 40	▲ 30.8%	976	1,808
管理費用	195	205	▲ 9	▲ 4.7%	429	407
<b>関連事業</b>	<b>57</b>	<b>43</b>	<b>14</b>	<b>34.4%</b>	<b>121</b>	<b>97</b>
受託事業	39	24	14	60.9%	71	56
その他の事業 <sup>(注)2</sup>	18	18	▲ 0	▲ 0.4%	50	40
セグメント間取引消去	▲ 1	▲ 0	▲ 0	-	-	▲ 2
	<b>907</b>	<b>1,083</b>	<b>▲ 175</b>	<b>▲ 16.2%</b>	<b>2,726</b>	<b>3,686</b>
<b>営業利益</b>						
<b>高速道路事業</b>	<b>12</b>	<b>0</b>	<b>12</b>	<b>-</b>	<b>▲ 24</b>	<b>4</b>
<b>関連事業</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>▲ 0</b>	<b>▲ 15.3%</b>	<b>6</b>	<b>11</b>
	<b>15</b>	<b>3</b>	<b>12</b>	<b>394.6%</b>	<b>▲ 17</b>	<b>15</b>
<b>経常利益</b>	<b>18</b>	<b>5</b>	<b>12</b>	<b>252.9%</b>	<b>▲ 14</b>	<b>21</b>
<b>親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益</b>	<b>9</b>	<b>1</b>	<b>7</b>	<b>508.0%</b>	<b>▲ 18</b>	<b>13</b>

(注)1 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

2 関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業等を含んでおります。

3 2021年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

## 2. 事業の状況

### (1) 概要

- 高速道路事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、料金収入は前年度と比較し大幅に減少しましたが、管理費の**上期特性**※による影響が大きく、中間決算においては利益が発生しました。  
 ※ 補修工事等の完成が下期に多いことから、**管理費については、下期が上期よりも大きくなる傾向**にあります。
- 他方で、料金収入の実績が計画収入の一定割合を超えて変動した際には、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下「機構」といいます。）・会社間の協定等に基づき、一定割合を超える部分については会社から機構に支払う道路資産賃借料の加減算を行うこととなっている中で、今回の中間決算における道路資産賃借料については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による料金収入の減少に伴い、協定等に基づく上期計画額より、**約131億円減額**となっています。
- なお、今回の中間決算を踏まえた、会社全体の通期見通しについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による料金収入の減少が業績への影響として見込まれることから、**当期純損失約18億円**となる見込みです。
- 阪神高速グループでは、新型コロナウイルス感染症への対応として、料金所やパーキングエリアにおける感染防止対策をはじめとして、当社グループ全体の感染拡大防止策の徹底等に取り組んでまいりました。今後とも、関西都市圏の重要な社会基盤として阪神高速道路が担う役割を果たすべく努めてまいります。

### (2) 高速道路事業

#### 【2021年3月期中間期の業績】

- 阪神高速道路の一日当たり平均通行台数は新型コロナウイルス感染症拡大による影響等に伴い、61.1万台（前年同期比15.2%減）となりました。  
 また、料金収入は770億円（前年同期比137億円減）となりました。
- 機構に対する道路資産賃借料は、564億円（前年同期比140億円減）となりました。  
 なお、料金収入の減少に伴い、協定等に基づく上期計画額695億円から131億円を減額しています。
- 管理費の上期特性による影響が大きく、高速道路事業の営業利益は12億円（前年同期比12億円増）となりました。

#### （主なピックス）

- ミッシングリンクの解消に向け、淀川左岸線（海老江JCT～豊崎）、淀川左岸線延伸部及び大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）の整備推進に努めました。
- 「お客さま満足アッププラン2020」の取組みでは、11号池田線（福島付近）の渋滞対策として速度回復誘導灯を設置したほか、自転車や歩行者等の誤進入対策として入口に誤進入禁止看板を設置するなど、お客さまの安全・安心の向上に継続的に努めてまいりました。このほか、関西地域の経済活性化に貢献するため、国が実施する「GoToトラベル事業」に参画し、旅行会社とタイアップした「阪神高速周遊パス（2日間）」の販売を開始しました。

#### 【2021年3月期通期の見通し】

- 今後も新型コロナウイルス感染症の影響による交通量の減少が継続すると見込んでおり、料金収入は、1,600億円（前年同期比180億円減）となる見込みです。
- 道路資産賃借料は、料金収入の減少に伴い、協定に基づく計画額1,390億円から190億円が減額され、1,199億円（前年同期比176億円減）となる見込みです。
- 管理費用は、429億円（前年同期比21億円増）となる見込みです。
- この結果、高速道路事業の営業損失は24億円（前年同期は営業利益4億円）となる見込みです。

### (3) 関連事業

#### 【2021年3月期中間期の業績】

- 受託事業は、淀川左岸線の工事受託等により、営業収益は39億円（前年同期比14億円増）、営業費用は39億円（同14億円増）となり、営業損失は30百万円（前年同期は営業損失17百万円）となりました。
- その他の事業は、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業等を展開したことにより、営業収益は21億円（前年同期比42百万円減）、営業費用は18億円（同7百万円減）、営業利益は2億円（同34百万円減）となりました。

#### （主なピックス）

- 休憩所等事業において、2箇所（中島、泉大津）のパーキングエリアでコンビニエンスストアを阪神高速では初めてオープンしました。

#### 【2021年3月期通期の見通し】

- 関連事業の営業収益は128億円（前年同期比20億円増）、営業費用は121億円（同24億円増）、営業利益は6億円（同4億円減）となる見込みです。

**(参考)2021年3月期中間期の個別業績について**

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	2021年 3月期 中間期(A)	2020年 3月期 中間期(B)	増減		2021年 3月期 通期見通し	2020年 3月期 通期実績
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)		
<b>営業収益</b>						
<b>高速道路事業</b>	<b>860</b>	<b>1,038</b>	<b>▲ 177</b>	<b>▲ 17.1%</b>	<b>2,577</b>	<b>3,590</b>
料金収入	770	907	▲ 137	▲ 15.1%	1,600	1,781
道路資産完成高	90	131	▲ 40	▲ 30.8%	976	1,808
その他売上	0	0	0	28.8%	0	0
<b>関連事業</b>	<b>45</b>	<b>31</b>	<b>14</b>	<b>44.4%</b>	<b>86</b>	<b>72</b>
受託事業	39	24	14	60.8%	72	57
その他の事業	6	7	▲ 0	▲ 8.8%	14	14
	<b>906</b>	<b>1,070</b>	<b>▲ 163</b>	<b>▲ 15.3%</b>	<b>2,664</b>	<b>3,663</b>
<b>営業費用</b>						
<b>高速道路事業</b>	<b>850</b>	<b>1,040</b>	<b>▲ 189</b>	<b>▲ 18.2%</b>	<b>2,608</b>	<b>3,600</b>
道路資産賃借料	564	704	▲ 140	▲ 19.9%	1,199	1,375
道路資産完成原価	90	131	▲ 40	▲ 30.8%	976	1,808
管理費用	195	204	▲ 8	▲ 4.3%	432	415
<b>関連事業</b>	<b>44</b>	<b>30</b>	<b>13</b>	<b>45.5%</b>	<b>83</b>	<b>68</b>
受託事業	39	24	14	60.9%	71	56
その他の事業	5	6	▲ 0	▲ 15.7%	12	11
	<b>895</b>	<b>1,070</b>	<b>▲ 175</b>	<b>▲ 16.4%</b>	<b>2,692</b>	<b>3,668</b>
<b>営業利益</b>						
<b>高速道路事業</b>	<b>10</b>	<b>▲ 1</b>	<b>12</b>	<b>-</b>	<b>▲ 31</b>	<b>▲ 9</b>
<b>関連事業</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>15.0%</b>	<b>3</b>	<b>4</b>
	<b>11</b>	<b>▲ 0</b>	<b>12</b>	<b>-</b>	<b>▲ 28</b>	<b>▲ 5</b>
<b>経常利益</b>	<b>17</b>	<b>5</b>	<b>11</b>	<b>207.5%</b>	<b>▲ 22</b>	<b>4</b>
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>10</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>134.4%</b>	<b>▲ 22</b>	<b>2</b>

(注) 2021年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。